

1. 科目名 (単位数)	労働衛生学 (4単位)	3. 科目番号	SSMP3336
2. 授業担当教員	澤田 晋一		SCMP3336
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	第一種衛生管理者免許の取得希望者は、本科目のほかに、生理学、健康管理学（健康相談活動を含む）、労働法（労働基準法）、労働安全衛生法（じん肺法を含む）をすべて修得する必要がある。		
7. 講義概要	<p>労働者が安全で衛生的かつ快適に働くには、労働者を取り巻く環境をより良い状態に維持することが重要である。そのために衛生管理者は、社会情勢の変化や技術革新に伴う労働環境の変化、労働者の高齢化等に伴う心身の健康状態の変化等に柔軟に対応できなくてはならない。</p> <p>本科目では、安全衛生管理体制の確立と衛生管理者の役割、そして衛生管理の3本柱である「作業環境管理」、「作業管理」、「健康管理」を中心に労働衛生管理全般について学ぶ。福祉を学んだ衛生管理者が求められていることについても考察する。</p> <p>なお労働衛生学は、本学で国家資格である第1種衛生管理者免許を取得するために、必ず履修しなければならない科目の一つである。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我が国の労働衛生の現状について説明できるようになる。 2. 望ましい安全衛生管理体制について説明できるようになる。 3. 労働安全衛生マネジメントシステムやリスクアセスメントについて説明できるようになる。 4. 一般作業環境について説明できるようになる。 5. 有害作業環境（物理的、化学的、生物学的）要因とそれらによる健康障害について説明できるようになる。 6. 作業環境管理（作業環境測定とその管理、換気装置等）について説明できるようになる。 7. 作業管理（作業時間と休憩時間、労働衛生保護具等）について説明できるようになる。 8. 健康管理（健康診断及び健康教育等）について説明できるようになる。 9. 職場におけるメンタルヘルス対策について説明できるようになる。 10. 救急蘇生法について説明できるようになる。 		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・演習において適宜、提出物を求める。 ・課題レポートは、授業で学んだことを踏まえ、自分でテーマを立て、2,000字でまとめ、指定された期日までに提出する。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 中央労働災害防止協会編『衛生管理（上）＜第1種用＞』中央労働災害防止協会、2024。</p> <p>【参考書】 中央労働災害防止協会編『第1種衛生管理者試験問題集 解答&解説』中央労働災害防止協会、令和6年版（本書は「労働安全衛生法（じん肺法を含む）」でも使用する参考書である）。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 衛生管理者の職務と役割、安全衛生管理体制、リスクアセスメントなどについて理解できているか。 2. 作業環境による健康障害、作業環境管理、作業管理、メンタルヘルス対策、救急処置等について理解できているか。 <p>○評定方法</p> <p>[日常の授業態度、提出物等を総合して評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常の授業態度（参加、実践、態度） 総合点の40% 2. 課題レポート・期末試験など 総合点の60% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>国家資格である第1種衛生管理者と同等以上の知識を習得することを第一目標とする授業を行うので、以下の「注意事項」をしっかりと守ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) この講義は、国家試験が「免除」されるための講義・演習であり、よって、毎時間の授業で出席をとり、欠席・遅刻・早退・途中退室は、減点します。 (2) 私語、居眠り、携帯電話、飲食、代返、その他講義と関係のない行為は、禁止します。 <p>※ 授業内容を適宜変更する場合があります、その際は周知します。また、適宜映像教材を使用する予定です。</p>		
13. オフィスアワー	授業前後の休憩時間。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	シラバスの説明、労働衛生の現状と目的、労働衛生管理とは	事前学習	働くことと健康・病気との関係について考えてくる。
		事後学習	労働衛生の現状と目的、労働衛生管理について説明できる。
第2回	衛生管理者の役割 (業務上疾病への対応、快適職場形成と健康増進、安全配慮義務、衛生管理者への期待)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	衛生管理者の役割について説明できる。
第3回	衛生管理体制 (トップ、ライン、スタッフの役割)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	衛生管理体制のスタッフの役割について説明できる。
第4回	衛生管理体制 (労働衛生管理体制の法整備)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	労働衛生管理体制の法整備について説明できる。

第5回	衛生管理体制 (安全衛生委員会の活用、労働衛生管理に必要な記録と届け出、報告)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	労働衛生管理に必要な記録と届け出、報告について説明できる。
第6回	衛生管理体制 (労働安全衛生マネジメントシステムとリスクアセスメント)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	労働安全衛生マネジメントシステムとリスクアセスメントについて説明できる。
第7回	作業環境要素 (作業環境要素とは、一般作業環境、有害作業環境)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	作業環境要素、一般作業環境、有害作業環境について説明できる。
第8回	作業環境要素(化学物質管理、コントロールバンディング)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	化学物質管理、コントロールバンディングについて説明できる。
第9回	物理的環境要因と健康障害 (高温、低温)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	高温・低温障害について説明できる。
第10回	物理的環境要因と健康障害 (騒音、振動、異常気圧、その他)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	騒音、振動、異常気圧による健康障害について説明できる。
第11回	物理的環境要因と健康障害 (電離放射線、非電離放射線)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	電離放射線、非電離放射線による健康障害について説明できる。
第12回	作業要因と健康障害 (VDT作業、重量物取り扱い作業、心理的負荷、夜勤交代制、過重労働)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	作業要因による健康障害について説明できる。
第13回	生物学的環境要因と健康障害 (感染症の特徴、呼吸器感染症、食中毒、海外勤務における感染症対策)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	生物学的環境要因による健康障害について説明できる。
第14回	化学的環境要因と健康障害 (じん肺と合併症)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	じん肺と合併症について説明できる。
第15回	化学的環境要因と健康障害 (有害物による健康障害)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	有害物の種類と有害物による健康障害について説明できる。
第16回	化学的環境要因と健康障害(窒素性ガス、酸素欠乏)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	窒素性ガス、酸素欠乏による健康障害について説明できる。
第17回	作業環境管理(作業環境測定とその管理)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	作業環境測定とその管理について説明できる。
第18回	作業環境管理(全体換気装置と局所換気装置)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	全体換気装置と局所換気装置について説明できる。
第19回	作業環境管理(事務所の作業環境の改善と快適職場づくり)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	事務所の作業環境の改善と快適職場づくりについて説明できる。
第20回	作業管理(目的と意義、作業時間と休憩時間、VDT作業)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	作業時間と休憩時間、VDT作業について説明できる。
第21回	作業管理(作業姿勢、腰痛予防)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	作業姿勢、腰痛予防について説明できる。
第22回	作業管理(労働安全衛生保護具)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	労働安全衛生保護具について説明できる。
第23回	健康管理 (健康管理の意義と目的、健康診断と事後措置、適正配置)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	健康管理の意義と目的について説明できる。
第24回	健康管理 (雇用・就業形態と健康管理、過重労働による健康防止対策、感染症対策)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	雇用・就業形態と健康管理、過重労働による健康防止対策、感染症対策について説明できる。
第25回	労働衛生教育(目的と意義、労働衛生教育の進め方、教育技法としての職場小集団活動)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	労働衛生教育について説明できる。
第26回	健康保持増進とメンタルヘルス対策 (心とからだの健康づくりの意義と目的、THPと衛生管理者の役割)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	心とからだの健康づくりの意義と目的、THPと衛生管理者の役割について説明できる。
第27回	健康保持増進とメンタルヘルス対策(職場におけるメンタルヘルス対策、ストレスチェック制度、職場のハラスメント防止対策)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	職場におけるメンタルヘルス対策、ストレスチェック制度、職場のハラスメント防止対策について説明できる。

第28回	救急処置 (救急蘇生法、応急手当)	事前学習	教科書の該当箇所を読んでくる。
		事後学習	救急蘇生法、応急手当について説明できる。
第29回	復習とまとめ (国家試験問題演習)	事前学習	国家試験の過去問を調べておく。
		事後学習	国家試験の過去問を全問正解できる。
第30回	期末のまとめ 課題レポート提出と発表	事前学習	これまでの授業の「総まとめ」。
		事後学習	労働衛生学で学んだことを振り返る。
期末試験			